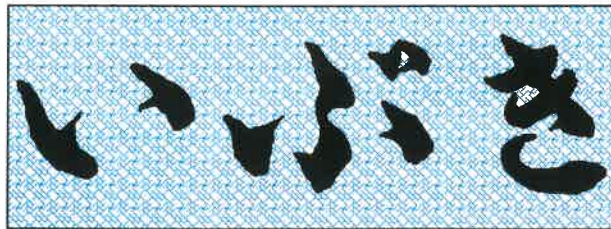


No.68

令和7年1月31日
 中野市民センター
 八王子市中野町2726-7
 ☎042(627)6221
 FAX042(686)2810



中野地域住民協議会 広報委員会 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

令和六年度を振り返り見て

中野地域住民協議会 会長
 中野市民センター 館長
 伊藤 栄治

昨年度は役員の交代があり七夕まつりと文化祭の内容が様変わりさせ実施しました。

七夕まつりをベテランの副会長が担当。体調が悪いにも関わらず実行委員長を引き受け新役員の協力を経て、変更された体育室の使い方を提案通り進めました。カラオケ大会・模擬店・休憩所を兼ねた体育室で反対意見もありましたが結果、利用者からはお褒めの言葉が多く聞けて役員一同安心しました。

文化祭は、新副会長に依頼したところ、快く引き受け私の補助が必要かと思いましたが若さゆえのエネルギーがなアイデアが組み込まれ分かりやすく会場配置図も作成してくださいました。創価大学のパイオニア吹奏楽団の迫力ある演奏は文化祭を盛り上げ大盛況でした。

町会・自治会の運営委員始め委員・応援者方々のご協力があったからこそ成功した事をご報告いたします。ゴミ出しも行政からの指示を受け今回は十キロと減量できました。

硫黄島慰霊の旅その二

私事、三年前、硫黄島慰霊祭に初めて参加し、昨年十一月に再度夫婦で二度目の慰霊に行く事となりました。父の戦死した海軍硫黄島警備隊本部豪は、天山から車で十分の場所にあります。そこは岩を掘り砕いた豪があり、硫黄の臭いと十一月半ばなのに二十八度を超える暑い場所でした。

私は花束と内地の水を墓標に捧げました。島内のガイドは厚労省のベテラン職員で慰霊祭には三十回も来ていると伺い、慰霊場所を詳しく案内してもらいました。最後、播鉢山で島全体を見ることができました。ここには米兵の慰霊碑もあり身に着けていた時計やアクセサリーが遺品として残され見る事もできました。現在も鹿島建設作業員が数名内地から派遣され、新しく発見される豪にて遺骨収集の仕事を担っていると同じ一骨でも多く遺族のもとへ届くことを祈ってきました。現地状況をみて辛く厳しく戦った肉親を思うと戦争は悲しみ憎しみ寂しさを残すのみです。私たちは戦没者の願いを永遠に深く心に刻み平和と繁栄を忘れてはならないと感じました。



米軍の戦車の残骸



日本軍の大砲 (播鉢山の麓)



天山にて合同慰霊祭



帰りに硫黄島を旋回し播鉢山を映す



播鉢山の米兵の慰霊碑



硫黄島警備隊本部豪の入り口

第31回中野市民センター文化祭 2024.11.2~3



模擬店出店数13店 売上利益優勝 赤飯チーム



出典作品数318点 入場者数358人

出場者47名 観客数80名ほど



出場者数43名 子供たちも参加して楽しく行われました



パイオニア吹奏楽団 演奏者40名 観客数およそ120名 賄いカレー完食



参加者36名 1位が3名同点優勝

文化祭も終了しにこやかに打ち上げ 賄いさんありがとうございました

第三十一回文化祭を終えて

実行委員長 輪玉 悠

十一月二日(土)、三日(日)の二日間をかけた第三十一回中野市民センター文化祭を開催いたしました。八王子市初宿市長、八王子市学園都市文化ふれあい財団、八王子市協働推進課、都議、市議の方々がご多忙の中ご来場いただきました。心より御礼申し上げます。また、文化祭開催にあたりご協力いただきました各町会・自治会の方々、役員を含む住民協委員の方々、そしてセンター職員の方々、皆さまのおかげをもちまして無事開催できましたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。さて、開催日の初日はあいにくの雨でしたが二日目には快晴となり、カラオケ・芸能大会、グラウンドゴルフでは出場者の方々がそれぞれ日頃の練習の成果を余ることなく発揮されていたと感じております。作品展は

会場変更に伴い小規模での開催となりましたが、熱意のこもった作品が隙間なく並んでおり、来場者は見応えのある空間をじっくりと堪能されておりました。また、模擬店では今回も各町会・自治会の工夫されたメニューが販売され、定番お祭りメニューから季節を感じる温かい食べ物まで盛況なうちに完売となりました。今年度から市民センターまつりでは地域力を継続させたいという思いから、持続可能な開催形態を模索しています。

会から分離し馬場谷戸町会が出来ました。町会の会館がある敷地内の熊野神社の古文書には「左入村 字馬場谷戸」と記されており、滝山城の兵の馬の鍛錬場が「馬場谷戸」の地名の由来のようです。今では、バス停として残されている位で知名度は低いです。戸建て世帯の町会加入率は八十%以上と高く毎月、実施している資源回収への協力や九月に実施する「馬場谷戸祭り」や一月に実施する「餅つき・どんど焼き」も参加者が多く、楽しいひと時に住人同士の交流を深め地域の絆を感じます。当町会では、毎月「ばばやとニュース」を広報担当者が作成し、回覧をしています。町会の行事のお知らせや、会館での懇親と交流の場として「サロン・オリーブ」の開催や「健康体操教室」の案内、防犯、防災の注意等、事業所への配布や「ブログ」でも見られるようにしています。

今後の中野市民センターまつりが中野地域の人が集まる場所となり、同じ時間を共有できる手段として開催し続けられることを期待します。

馬場谷戸の紹介

町会長 長友 広継

馬場谷戸町会は左入町と中野山王町に住所がある二百世帯の会員で構成されています。平成元年に左入町

課題としては会員の高齢化による役員のなり手不足で、次世代の後継者を育成していくことが必要です。「明るく、元気で心の通い合う地域の絆づくり」を目指して参ります。



第十一回 地域ふれあい運動会

令和六年十月六日に第九小学校で行われました。天気も良く楽しい運動会となりました。



★第七十八回

報告 川井 恵子

「コミュニケーションサロンだより」 サロンも皆様のおかげで八十回を迎えることが出来ました。多種多様なサロンの中からコミュニケーションが生まれ、勉強になったり、何よりも楽しい時間を過ごすことが出来ました。これからも、皆様の協力を得て、意義あるサロンを続けていける様努力していきます。参加をお待ちしております。

★第七十九回

九月二十八日(土)

「デッサンで脳をリフレッシュ」 みなさん上手で、思わぬ才能を発揮される方が多勢いました。生き生きリフレッシュできました。

(参加者 十八名)
協力 川田 シズエさん



★第八十回

十月二十六日(土)

「私の消防人生 地域の安心安全を願って」 消防の意外な働きなどのお話が聞けて、とてもためになりました。長年の消防人生のエピソード等面白くて、アツという間の時間でした。(参加者 二十七名)

講師 田畑 修さん



★第八十回

十二月二十一日(土)

「正月飾り しめ縄製作」 回を重ねるごとに、素晴らしい作品を教えてください。参加した方々は本当に満足な正月飾りを手にすることが出来ました。頑張った甲斐がありましたね。

(参加者 十五名)
講師 伊藤 栄治さん



今後のスケジュール予定

一月「私が紹介する人生の感動ノート」

お話し 辻 升人さん

三月「フルートの音色で癒しの時間を」

演奏者 須藤 誠さん

四月以降は新たな試みです。ターゲットします。お楽しみに。

中野市民センター

図書室からのお知らせ

貸出返却日

水木土 十四時～十六時
日 十時～十二時

右記以外の時間帯

は事務所にて声を掛けて頂ければ閲覧することが出来ます。



中野市民センターだより

「オンライン施設予約システム」

一月五日より、新施設予約システムをスタートしています。昨年十一月より、利用者番号を用い、抽選申込をされたお客様のの中には、残念ながら落選の通知もあり、お困りの声を聞いております。また慣れないパソコンにもチャレンジして頂いており頼もしい限りですが、お困りの話もお聞きしております。ご不明な点等ございましたら何度でもパソコンの操作や、また代わりの部屋のご利用など、サポートさせていただきます。是非ご相談ください。お待ちしております。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
(業務員 川上由美子)

編集後記

明けましておめでとございます。旧年中はご愛読頂きありがとうございました。

昨年は元日に大きな地震(石川県能登半島)が発生、又九月には豪雨がありました。その間気象状況は、前線の影響で大気が非常に不安定な状況が重なり、台風や線状降水帯により、各地で局地的に記録的な豪雨となり、土砂崩れや川の氾濫等々の大きな被害が連続しました。又冬は、長期予報によりますます暖冬と言われていますが、不安定の為、寒暖差の日々が続きました。これからもまだまだ寒さが続くと思えますので、風邪等々十分注意して過ごしましょう。今号では、館長新年の挨拶、文化祭の報告、町会・自治会地域のPR、サロンの報告、市民センターだより等々を掲載しお届け致します。本年もご愛読の程よろしくお願いたします。

(広報委員一同)